

岩手・宮城内陸地震の被害状況について（6月18日現在）

平成20年6月18日
社団法人日本農業法人協会

6月14日に岩手県内陸南部を震源として発生した地震は、各地に大きな被害をもたらしています。今回の地震では、当協会会員1社（岩手1社、宮城1社）が被災している模様です。当協会も地震発生直後より情報収集を行ってまいりましたが、6月26日には緊急役員会（会員選出）を開催し、協会としての対応を決定することとしております。

《会員の被災状況について》

岩手県・宮城県・秋田県農業法人協会では、被災後、被害発生地域の会員との連絡、現地の確認にあたっています。現在把握している範囲では、会員の会社に人的被害は発生していない模様です。生産施設については、宮城県栗原市周辺において、施設園芸、菌茸栽培（施設）に取り組む会員に甚大な被害が発生しています。また、畜産関係施設にも被害が発生しています。

会員・役職員一同、被災された会員の皆様にお見舞い申し上げますとともに一日も早く復興に向けた足取りをたどっていただけるようお祈り申し上げます。

都道府県	市町村名	被害概要等
岩手県	一関市 金ヶ崎町 奥州市	養豚場の豚舎のコンクリート通路にヒビが発生 農道に亀裂、物が倒れる程度で被害無し 揺れは大きかったが、被害無し
宮城県	栗原市	・プラントが倒壊 ・棚が倒壊、生産容器が落下、飛散し変形や破損した ・施設の地下配管等の損傷、点検・修理が必要 ・棚から生産容器が床に落ち、生育に影響 ・乾燥機が地震で揺られ、一部損傷、修理が必要 ・昭和30年代に建設した施設が崩壊 ・畜舎1棟が損傷 ・施設内のコンクリート通路に段差が生じた ・タンクの8割に修理が必要、内容物が大量に漏れた ・装置及びタンクが倒れ2日間稼働できず収穫にどのような影響が出るか心配。減収は免れない
秋田県	湯沢市	特になし

《宮城県農業法人協会を代表して》

このたびの地震に際しましては、発生直後から全国の会員各位並びに関係機関の皆様から多数のお見舞いや励ましの電話などいただきありがとうございました。あらためて御礼申し上げます。

去る、6月14日、岩手県南西部の宮城県境近くを震源とする「岩手・宮城内陸地震」が発生し、新聞報道等のおり震源地周辺において、大きな痛手を受けており、余震は続き、復旧の見通しすら立たない状況にあります。

本県協会は、週明け16日（月）に緊急正副会長会議を開催し、最大震度6強を観測した本県北部の栗原市の会員の被害状況を把握することとし、表のとおりまとめました。栗原市は、県北部に位置し平成17年4月に旧10市町村が合併したところもあって、同市内でも被害状況は、大分差があります。

その中でも、きのこの生産法人で菌床「なめこ」や「しいたけ」が全滅、また、収穫を目前にして被災され非難を強いられた法人もあるなど、今後、収穫時期でどれだけの影響が出るか心配している法人もおります。なお、特に大打撃を受けた法人も数社伺われる状況にあります。

今後、関係者と協力して被災会員の救援にあたって行きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（会長 伊藤 秀雄）